

# 食・農 ぴっくあつぶ

2026年2月号  
No. 203  
東海農政局  
  
ウェブサイト

## 「スマート農業推進フォーラム2025 in 東海」を開催しました

東海農政局は、令和7年12月18日、農研機構中日本農業研究センターとの共催で、スマート農業の普及拡大を図るため、STATION Ai（名古屋市昭和区鶴舞）において、「スマート農業推進フォーラム2025 in 東海」を開催しました。当日は、セミナー（会場・オンライン）と展示会を行い、農業関係者、民間事業者、行政関係者など約350名が参加し、スマート農業について広く情報発信を行うとともに、参加者同士で意見を交わす機会となりました。

### セミナー



### 展示会



(株)トクイテンやJA西三河きゅうり部会をはじめとする生産者によるスマート農業の実践事例の紹介や、三重大学が開発に取り組む最新技術の報告がありました。このほか、農研機構からはスマート農業技術が経営に与える効果等を説明し、東海農政局からはスマート農業法に基づく管内の取り組み状況を報告しました。

参加者へのアンケートでは、「技術の活用事例を具体的に知ることができて良かった」「開発の進んだ話題が多くだったのでとても勉強になった」「現場目線での発表だったので、参考になった点を実践できそう」といった評価をいただきました。

お問合せ先 生産部 環境・技術課 TEL 052-746-1313

セミナーの資料、出展者の情報はこちら  
<https://www.maff.go.jp/tokai/seisan/kankyo/tech/25sympo.html>

### みどり戦略関連

## 地産地消に取り組んだ学校給食の紹介～三重県尾鷲市～

三重県尾鷲市は「漁業と林業と有機農業のまち」としてさらなる発展を遂げるため、令和6年1月20日に「オーガニックビレッジ宣言」を行い、有機農業と地産地消に取り組んでいます。

学校給食に、有機栽培された特産品の甘夏や地元の新鮮な魚介類を積極的に取り入れ、こどもたちが地域の恵みに触れながら、健やかに成長できる「食育」の推進にも取り組んでいます。



中学生がカツオの3枚おろしに挑戦



給食の時間に実食

### 東海食育さんぽ



<https://www.maff.go.jp/tokai/keiei/shokuhin/shokuiku/SANPO.html>

尾鷲市内の中学校では、生徒が漁業の現場や魚の生態について学んだり、「カツオの3枚おろし」を体験し魚を調理する機会を通じて、水産物や水産業の魅力を実感しています。

その様子はYouTube「東海食育さんぽ」で公開中。

お問合せ先 消費・安全部 消費生活課 TEL 052-223-4651

# 令和7年度「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の選定証授与式を行いました

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村が持つポテンシャルを引き出して地域の活性化や所得の向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、広く発信しています。

今回、東海農政局管内（岐阜県、愛知県、三重県）から全国選定された2地区および東海農政局で選定された3地区に対し、それぞれ12月に選定証授与式を行いました。



## 全国選定

令和7年12月19日、農林水産省講堂において選定証授与式が開催されました。

管内からは、神事・酒造り・稲作一体の地域共創に取り組む「『神都（しんと）の祈り』産学官連携日本酒プロジェクト」（三重県明和町）と、海女漁業・海女文化の価値づけに取り組む「海女（あま）振興協議会」（三重県鳥羽市・志摩市）の2地区に対し、選定証が授与されました。

ビジネス・イノベーション部門



「神都の祈り」産学官連携日本酒プロジェクト

コミュニティ・地産地消部門（優秀賞）



海女振興協議会

## 東海農政局選定

東海地域独自の特徴のある優れた取り組みとして選定された3地区について、現地で選定証授与式を行い、併せて意見交換会を行いました。

12月15日

サボテンの新たな可能性の研究と利活用推進を先導する「堀部 貴紀（ほりべ たかのり）」氏（愛知県春日井市）

12月16日

輪之内町産米「ハツシモ」のブランド確立に取り組む「徳川将軍家御膳米生産組合」（岐阜県輪之内町）

12月17日

米から作る「酒じん」の開発・普及で地域活性化に挑む「株式会社プロジェクト・ラボ」（三重県伊賀市）

個人部門



堀部 貴紀氏（右）と東海農政局 秋葉局長（左）

コミュニティ・地産地消部門



徳川将軍家御膳米生産組合 加藤組合長（右）と  
東海農政局 福井次長（左）

ビジネス・イノベーション部門



（株）プロジェクト・ラボ 東山代表取締役（左）と  
東海農政局 福井次長（右）

詳細は東海農政局のウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.maff.go.jp/tokai/noson/keikaku/discover/index.html>



## 令和7年度東海地域花きセミナーの参加者を募集します

東海農政局は、東海地域花き普及・振興協議会との共催で、東海地域の花き産業関係者が、花きの流通や消費に関する最近のトピックス等について学ぶ機会を創出し、自らの経営や活動に生かすことにより、花き産業の発展に寄与することを目的にセミナーを開催します。

皆さまのご参加をお待ちしています。

### 開催日時

令和8年2月16日（月）  
14:00～16:30（受付13:30～）

### 講 演

（14:10～15:40）

### 開催場所

東海農政局 第1会議室

宇田花づくり研究所

うだ あきら

代表 宇田 明 氏

プロフィール

- ・千葉大学園芸学部園芸学科卒業
- ・元兵庫県立農業試験場淡路分場花き担当研究員
- ・元(株)なにわ花いちばテクニカルアドバイザー

### 募集人数

50名（参加費無料）

### 情報提供

（15:50～16:30）

### 「GREEN×EXPO 2027について」

（公社）2027年国際園芸博覧会協会  
事業部事業企画課

いからし あきら  
課長 五十嵐 晃 氏



©Expo 2027

お問い合わせ先 生産部 園芸特産課 TEL 052-223-4624

## ～「森のある暮らし」シンポジウム～ in 岐阜県八百津町

12月11日、令和6年度「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」で全国選定（特別賞：農泊賞）を受賞した「80%山のまちを元気にする協議会」が活動する岐阜県八百津町において、森林空間の活用を軸に地域資源の価値を再発見し持続可能な地域づくりの可能性を探る「森のある暮らし」シンポジウム（岐阜県林政部主催）が開催されました。

午前中に行われた「まちの魅力を探すエクスカーション」では、参加者が「まちの案内人」の説明を受けながら町を歩き、舟運で栄えた八百津の歴史や文化、地域色豊かな料理に触れ、八百津の魅力を探しました。

午後のシンポジウムでは、東海農政局の福井次長が「一次産業を活かした地域の魅力づくりとその発信について」と題し講演を行いました。何度も会場を沸かせて参加者の心をつかみ、多様な関係者を巻き込む重要性を訴えました。

その後、協議会の取り組み報告とパネルディスカッションが行われ、①山の恵を活かす人（森林組合ほか）、②水の恵を活かす人（地元の酒蔵・醸造業者）、③山の恵と水の恵をつなぐ人（岐阜大学准教授、協議会代表、東海農政局）のそれぞれの立場から、森、水、食文化など地域の資源に対する思いが語られました。

アンケートによれば、参加者は、講演やパネルディスカッションでの話に深い共感を感じられたようです。



八百津の魅力を探する町歩き



参加者全員で山をかたどっての記念撮影



パネルディスカッションの様子（一部）  
右から  
蔵元やまだ 山田代表社員  
味噌平醸造株式会社 繙縫代表取締役  
内堀醸造株式会社 内堀代表取締役

お問い合わせ先 農村振興部 都市農村交流課 TEL 052-223-4630

## 2.14は大切な人に花を贈るFLOWER VALENTINEの日です！ ～花はいろいろな愛のカタチを表現できる自由なラブレター～



2月14日は世界でいちばん花を贈る日です。多くの国で、愛や感謝の気持ちを伝えるために花を贈る風習があります。  
最近、日本でもフラワーバレンタインをきっかけに大切な人に花を贈る人が増えています。  
恋人、友達、家族など、花で自由に気持ちを伝えてみませんか。

### フラワーバレンタイン2026 公式ウェブサイト (花の国日本協議会ウェブサイト)

フラワーバレンタインスペシャル企画や花のラブソング、花選びのお役立ち情報などを掲載しています。

ウェブサイトは  
こちら



<https://www.flower-valentine.com/>

### フラワーバレンタイン2026 東海地域イベント情報

東海地域では、フラワーバレンタインを盛り上げるイベントが開催されます。

ウェブサイトは  
こちら



[https://www.maff.go.jp/tokai/seisan\\_engei/hana/fv/index.html](https://www.maff.go.jp/tokai/seisan_engei/hana/fv/index.html)

お問合せ先 生産部 園芸特産課 TEL 052-223-4624

## ニッポンフードシフトの「推進パートナー」に登録して 一緒に取り組みを進めていきましょう！

農林水産省では、令和3年度から「ニッポンフードシフト」として、「食」と「農業・農村」について情報の取得や体験により関心を高め、国産の農林水産物を選択いただく行動変容につなげるための取り組みを展開しています。

国内で生産できる農産物は、できるだけ国内で生産するなど、食料自給率を向上していくことが必要です。

県、市町村、農業団体、JA、食品企業、小売業者、消費者団体、個人など、本取り組みに賛同いただける場合は、「推進パートナー」に登録することで、商品等のニッポンフードシフトのロゴマークの無償利用、ニッポンフードシフトの名義使用、公式サイト・公式noteでの事例紹介が可能です。

幅広い関係者が一緒になって、ニッポンフードシフトの取り組みを進めていきましょう。



「ニッポンフードシフト」の取り組みとして、東海学院大学と共に開催したパネルディスカッションの様子



推進パートナー



推進パートナーの登録はこちら



公式ウェブサイト



NIPPONFOODSHIFT

Instagram

お問合せ先 企画調整室 TEL 052-223-4609

【編集後記】今年の節分は2月3日。節分は季節を分けると言う意味があり、翌日が「立春」で暦の上では春が始まる日ですが、例年この時期から本格的に寒い日が多くなります。体調管理に気をつけましょう。

<編 集> 東海農政局 企画調整室 TEL 052-223-4610  
<ウェブサイト> <https://www.maff.go.jp/tokai/> 東海農政局



「食・農びっくあっぷ」  
ウェブサイト メールマガジンの登録はこちら



東海農政局 公式 X